

競技注意事項及び大会申し合わせ事項

1 競技規則について

本大会は2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定及び監督者会議での申し合わせ事項によって実施する。

2 練習について

- (1) 練習会場及び競技場では、逆走、チューブ・牽引ロープ・ミニハードル・ラダー等の私物の器具を使った練習は、危険防止のため禁止とする。※補助競技場では、フレキハードルを使用する。
- (2) 砲丸投の練習は、本競技場・補助競技場とも各顧問またはコーチの監督のもと行うこと。砲丸は各自、持参したものを使用する事。（原則、貸し出しはしない）
- (3) 安全に十分配慮し、できるだけ各チームのコーチの指導のもとに行うこと。走路の使用は、原則として以下の通りとする。状況により変更があるときは係員の指示に従うこと。

● 本競技場	◎1～2レーン：中長距離等の周回レーン ◎3～6レーン：短距離（リレーはバックストレート側の2と3コーナーを使用） ホームストレートの3～6レーンにスタプロ設置 ※4コーナーでのリレー練習は不可 ◎ホームストレート：7～8レーン：ハードル設置（7レーン：女子、8レーン：男子）
● 補助競技場	◎1～2レーン：中長距離 ◎3～6レーン：短距離（リレーはバックストレート側で） ※ホームストレートは3～4レーンはスタプロ設置 ※ホームストレート5・6レーン：女子ハードル、7・8レーン：男子ハードル設置
● 室内練習場	※基本的に室内練習場では、軽いジョグと流しのみとする。一方通行を守ること。

- (4) 練習時間は次の通りとする

	本競技場	補助競技場	室内練習場
3日（木）	12：00～17：30	12：00～17：30	12：00～17：00
4日（金）	7：10～ 8：40 ※ 開門 7：00	7：00～17：30	7：00～17：00
5日（土）	7：10～ 9：00 ※ 開門 7：00	7：00～13：00	7：00～12：00

※室内練習場は、非常に狭く、ゆっくりとしたジョグ程度しかできません。

※4日（金）棒高跳の練習は10時までとする。ただし開会式挨拶中は行わないこと。

※競技終了後の本競技場の使用は禁止とする。

- (5) 前日練習で、走高跳ならびに走幅跳の練習は、メインのみとする。但し砲丸投は補助競技場での投てきも可とするが、必ず顧問またはコーチがつくこととする。

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場第4ゲート外側（100mスタート側）に設ける。
- (2) 招集開始及び完了時刻は次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始70分前	競技開始60分前

(3) 招集の方法について

- ア 選手は招集完了時刻 10 分前までに招集所内の席で待機し、最終点呼を受けること。その際、競技者係にユニフォームのアスリートビブス、スパイク、シューズ、商標等の点検を受ける。(トラック競技のみ、腰ナンバーを受け取り、出発までに右腰部やや後方に付ける。)
- イ カメラ類、ラジオ、トランシーバー、携帯情報端末(デジタルメディアプレーヤーを含む)もしくは競技規則 TR6.3.2 に関わる電子機器を持ち込んではいけない。
- ウ 代理人による点呼は認めない。2 種目を同時に兼ねる競技者は、2 種目同時出場届を競技者係に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。
- エ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして処理する。
- オ 棄権する競技者は、招集完了時刻までに所定の棄権届を競技者係に提出すること。
- カ 監督者会議で承認を受けた選手以外の競技者変更は認めない。なお変更する場合は大会 1 日目 8:25 までに専門委員長を通し、大会本部に連絡すること。
- キ アスリートビブスは所定の大きさのままで胸・背部両面に付けること。ただし、跳躍競技は背部または胸部のみでもよい。
- ク **四種競技において2種目以降は、混成競技控室にて混成役員による点呼とする。トラック競技は20分前招集完了、フィールド競技は30分前招集完了とする。**

4 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入退場は係員の指示に従い整然と行う。なお本部前の通行は禁止する。
- (2) 競技者以外はトラック、フィールド内に立ち入らないこと。
- (3) 競技終了後は、スタート場所に競技場内を通り戻る。理由がない限り本部前は通らない。その後第4ゲートもしくは第1ゲートより退場する。最寄りのゲートから退場すること。
- (4) 決勝の競技において入賞した競技者は、競技終了後、速やかに表彰者控え場所(競技場ロビー)に集合する。

5 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技におけるレーン順およびフィールド競技の試技順はプログラム記載順序による。ただし決勝の組み合わせ、レーン順は主催者が公平に決める。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たとき(以下「同タイム者」という)は、下記の方法で決定する。
 - ア 競技規則 TR21.3 に基づき、100m・200m・400m・800m・100mH・110mH の同タイム者については、判定写真を拡大し、1/1000 秒まで読みとり着差の判定をする。それでも判定できない場合は、合は、同タイム者またはその代理人によって抽選する。

6 競技について

- (1) トラック競技
 - ア スターターの合図は英語(イングリッシュ・コマンド)で行う。
 - イ 競技規則 TR16.8 により、不正スタート1回で失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
 - ウ トラック競技は全て写真判定装置を使用する。
 - エ レーンの競走においては、フィニッシュライン通過後も自己レーン(曲線)に従って走ること。
 - オ 3000mについては、気象状況によっては給水を実施する。
 - カ リレーの競技者は、主催者が用意したマーカーを一人1カ所に限り使用することができる。マーカーは前走者が取り除くものとする。
 - キ リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに1部を競技者係に提出すること。一度申告した後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。招集完了時刻前であっても一度申告した編成の変更(オーダー用紙の差し替え)は認められない。医師の判断による変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。
- (2) フィールド競技
 - ア 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従って行うこと。
 - イ 跳躍の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
 - ウ 携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる電子機器は競技場内に持ち込むことができない。
 - エ 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は、最後の1人になり優勝が決まるまでは下表の通りとする。
(なお、コンディションにより変更することもあり得る)

種別・種目	公式練習	1	2	3	4	5	以後1人になるまで
男子四種走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	3cm ずつ
女子四種走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	3cm ずつ
男子走高跳	1m50 と 70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	3cm ずつ
女子走高跳	1m30 と 45	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	3cm ずつ
男子棒高跳	任意の高さ	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	10cm ずつ

※男女走高跳は、開始の15分前までフリー練習の後に、それぞれの高さを選び1人=2回、男子棒高跳は、11:00までフリー練習の後に任意の高さをゴムバーで2回とする。

オ 男女走幅跳は、開始の10分前までフリー練習とする。

カ 男女砲丸投、男女四種砲丸投は、公式練習は2投とする。

7 競技用具、会場について

- (1) 投てき用具は、競技場に備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人所有のもの（現地の跳躍審判員に検査を受けて合格したものに限る）を使用することができる。
- (2) スパイクシューズのピンは9mm以下、走高跳は12mm以下とし、2段平行ピン、平行柱ピンのみとする。なお、土のグラウンドの練習で、先端が丸くなったピンは使用できない。
- (3) 積極的にシューズの底厚のチェックは行わないが、2021年度より改訂されたシューズの底厚規定に準ずるものとし、違反が認められた場合は失格となる。(TR5.5)
- (4) フィールドにはコーチングエリアを設ける。
- (5) 学校受付や体調チェックは競技場中央入口ロビーにTIC（総合案内）を設け対応する。また競技会中、体調が悪くなった方は競技場内の医務室を利用すること。
- (6) 競技場中央入口ロビーには、表彰者待機場所も設置される。
- (7) 競技場中央入口付近に、近畿日本ツーリストデスクを置く。

8 表彰について

- (1) 各種目の8位までに賞状を授与する。(リレー種目は3位)
- (2) 競技は県対抗とし、各種目の合計得点によって、「男女総合」「男子総合」「女子総合」の順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を優先)なお、得点は種目別に1位9点、2位7点・・・8位1点の逆算法とする。ただし、開催県のリレーの得点は、出場チームの最高順位の得点とする。

9 諸届けについて

リレーオーダー用紙、二種目同時出場届、欠場届等は監督者会議で配付する。また、TIC・招集所にも用意する。
※広島県中学校体育連盟HP並びに広島陸上競技協会HPからも各種様式のダウンロード可能

10 感染症対策について

- (1) 本大会は、「令和5年度広島県中学校体育連盟主催大会実施上のインフルエンザコロナウイルス感染症等に関わる対応」従って、対策を十分に講じた上で開催する。
- (2) 大会当日、各参加校〔チーム〕は、(1)の対応として、県中体連指定の様式1『健康観察記録』を監督、引率者の責任において健康観察の結果を記入し、当日、持参しておく。※様式1は、各県中体連HPに掲載されています。
- (3) 選手・競技役員・監督・引率は必要に応じてマスクを着用するなど、各自で適宜、感染防止に努める。ただし、熱中症対策を優先する。

11 その他

- (1) メインスタンド開門時刻は両日とも7:00とする。各県とも、コンコースでは指定した場所を待機場所とする。
- (2) 発病(新型コロナウイルス感染症も含む)、負傷に対しては応急処置以外の責任は負わない。医務室は本部にある。
- (3) 応援横断幕は、バックスタンド、サイドスタンドの中段または上段の通路の手すりのみ可とする。のぼりは、バックスタンドとサイドスタンドの中段通路の手すりは可とする。
- (4) 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (5) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。
 - ① 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。
 - ② 次の場所および場面の撮影を禁止する。
 - ・100mスタート地点の後方、フィニッシュライン前方、走高跳ピット正面のそれぞれ撮影禁止区域のカラーコーンで規制してある部分では撮影を禁止する。

- ・ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしている時。
 - ・ 走幅跳の選手が跳躍する正面からの撮影。
- ③ 競技の様子を撮影した動画や画像をSNSや動画投稿サイトなどのネット上にアップするなどの行為は原則的に禁止とする。
- (6) 当日の記録は、アナウンス・電光掲示板・広島陸協HP大会速報で確認することができる。また各県の待機場所へ配布する。番組編成は、競技場正面ロビー出入口周辺の記録掲示板にも掲載する。

記録速報のお知らせ

中国中学校陸上競技選手権大会の記録速報を広島陸上競技協会ホームページに掲載します。

広島陸上競技協会 HP : <https://hiroshimatf.org>